

鉄火巻

握りネタの端材の受け皿と言う汚名を返上し、その握りを複数の側面から凌駕し、古より多くの方々から愛される「鉄火巻」。命名の由来も頷ける。詳細は、Web上に（それが正なのか不明だが）数多例があるので参照されたい。ここでは、割愛する。

今回使用したネタは、正真正銘クロマグロのトロである。その出所を正直に申し上げよ



う。とあるスーパーの所謂「マグロ解体ショー」の柵取り後の端材がまとめてパック詰めされ廉価で販売されていた。明らかに売れ残った雰囲気があったが、その内容の充実ぶりを確認し購入した。血合の部分は、生姜を入れ角煮に活用。10貫以上確保できた中トロ部分もあった。筋っぽい大トロ部分は細かく刻んで、巻物用に数本分採ることができた。そう考えると、随分とお買い得な1パックであった。またの開催を期待しよう。

その「大トロ部分」を使用したから間違いなく「トロ鉄火」と言うべきなのであろう。混ぜ物が多いまがい物のトロを悪く言う気はないが「頭が高い。控え居ろう」と言いたくなる美味しさであり、これで「価格による美味しさ」が木端微塵に吹き飛んだ。明らかに端材扱いであっても本物は本物。価格に惑わされ、真の美味しさを見失うところだった。